

コロナ禍でさらに広がる貧困と格差 私たちは何ができるか

聖学院大学心理福祉学部客員准教授
特定非営利活動法人ほっとプラス理事

藤田 孝典

自己紹介



- 藤田孝典
- 首都圏で生活困窮者支援を行うソーシャルワーカー
- 生存のためのコロナ対策ネットワーク共同代表。
- クルド人の生存権を守る実行委員会共同代表。
- NPO法人ほっとプラス理事。
- 反貧困ネットワーク埼玉代表。
- ブラック企業対策プロジェクト共同代表。
- 厚生労働省社会保障審議会特別部会委員(2012年)。
- 著書に『棄民世代』(SB新書 2020)『中高年ひきこもり』(扶桑社2019)『貧困クライシス』(毎日新聞出版 2017)『続・下流老人』『下流老人』(朝日新聞出版 2015・2016)『貧困世代』(講談社 2016)など多数。

NPO法人ほっとプラスの活動

生活相談

ホームレス状態にある方や生活に不安のある方から相談を受け、ソーシャルワーカーと一緒に問題の解決を目指します。

日常生活支援

金銭管理や服薬管理など日常生活に不安がある方も地域で暮らしていけるよう、生活のお手伝いをしています。また食事提供・交流会などの居場所作りも行っています。

住まいの提供

住居のない方に私たちが管理するシェルターやシェアハウスの提供を行っています。また、障害を抱えた方にはグループホームを提供しています。

ソーシャルアクション

貧困問題の現状を社会に訴えるために、講演会や大学での講義、メディア出演、著書の出版、SNSを通じて社会発信を行っています。

障害のある刑余者の受け入れ 全国の刑事施設から受け入れ

- 障害者グループホーム(アパートタイプの個室)での刑事弁護人、警察署、刑務所などからの受け入れ
- 殺人、強盗、放火、性犯罪など多様で、背景に精神障害、知的障害がある事例など
- 社会福祉士有資格者が全て対応

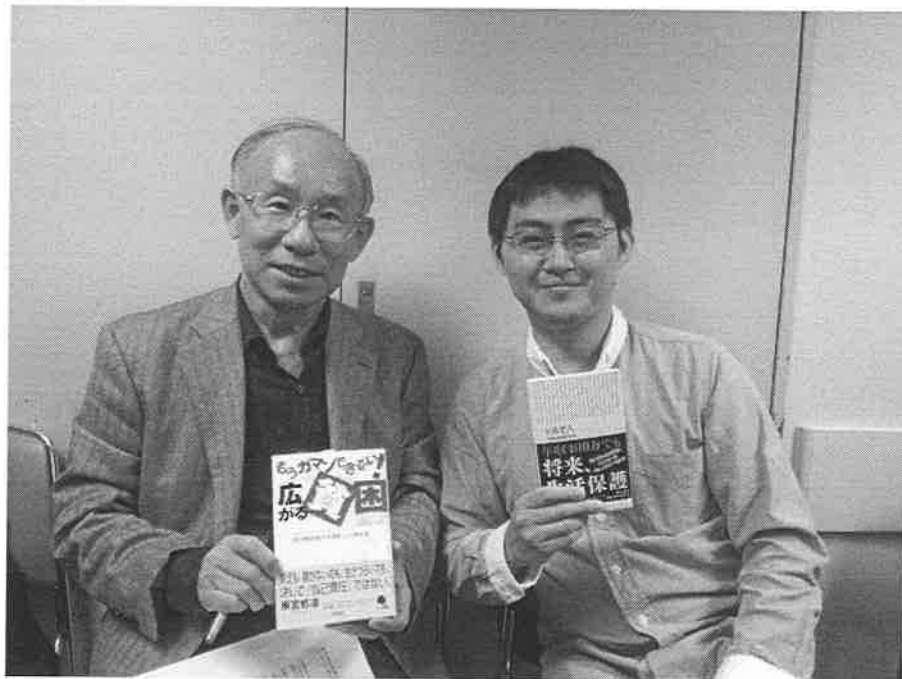


2005年から反貧困運動立ち上げ



生存のためのコロナ対策ネットワーク (平時から運動のネットワークを広範に)

- 生存のためのコロナ対策ネットワークは、労働問題や生活困窮、ハラスメント、差別に直面する人々の相談に応じてきた労働組合、NPO、学者、ジャーナリストらによって、この状況を変えるために急遽結成。
- 現場の声をもとに、コロナ危機のもとで人びとの生存を守るための具体的な政策提言やアクションを行ない、状況改善することを目的。



ネットワーク参加者、参加団体

稲葉剛(一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事)、今野晴貴(NPO法人POSSE代表)、藤田孝典(NPO法人ほっとプラス)、竹信三恵子(ジャーナリスト)、岩田正美(日本女子大学名誉教授)、後藤道夫(都留文科大学名誉教授)、布川日佐史(法政大学教授)、大内裕和(中京大学教授)、指宿昭一(弁護士)、新里宏二(弁護士)、猪股正(弁護士)、ほか順次拡大予定

さっぽろ青年ユニオン、仙台けやきユニオン、みやぎ青年ユニオン、日本労働評議会、首都圏青年ユニオン、全国一般東京東部労働組合、東京ゼネラルユニオン、総合サポートユニオン、首都圏学生ユニオン、ブラックバイトユニオン、NPO法人 POSSE / 外国人労働サポートセンター、名古屋ふれあいユニオン、大阪全労協、連合福岡ユニオン、反貧困みやぎネットワーク、反貧困ネットワーク埼玉、反貧困ネットワークあいち、外国人労働者弁護団など

電話相談会の特徴 (現場の相談支援活動が基軸)

相談者の多くが労働問題に起因した生活困窮であり、労働問題と貧困問題が地続き。

雇用・労働問題のセーフティネットが破られると、貯蓄が少ないため、猶予なく生活困窮。労働と福祉を結びつけて対応する必要性が明確に浮かび上がる。

女性相談の多さは顕著。飲食、小売、宿泊、観光は非正規女性労働者が多い産業。

リーマンショック(男性の派遣・非正規製造業)との大きな差異。

→雇用保険の失業給付期間が切れた後の生活困窮問題が今から予測できること。また年末に大量の女性困窮者？。

→期限付の社会保障からの延長、恒久化へ



**コロナを乗り越える
いのちと暮らしを守る
なんでも**
(無料・全国いっせい)

住まい 生活保護 労働 借金 etc

日時 **6月6日(土) 10:00~22:00**

新型コロナウイルスの影響が全国に広がっています。 弁護士、司法書士、社会福祉士、労働問題の専門家などが無料で相談にお答えします。 お困りの方、お気軽にご相談を!	例えば、 コロナを理由に雇止めにあった。 売り上げが激減して、営業が続かない。 家賃が払えず、追い出されないか心配。 収入がなくなり、生活保護を受けたい。 補助制度を使いたいが、どうすれば。
--	--

☎ **0120-157930**

主催「コロナ災害を乗り越えるいのちと暮らしを守るなんでも電話相談会」実行委員会
●小倉区 西郷 (あかり法律事務所) ☎06-6363-3310 ●船橋区 正 (埼玉総合法律事務所) ☎048-862-0355

寄せられる相談内容

<象徴的な事例>

- 20代女性、派遣社員、自動車工場、勤続10ヶ月。6月末での契約更新を断られた。3ヶ月ごとの契約更新。6月以降は未定という派遣労働。
- 20代女性、性風俗店で従事。仕事がなく生活に困窮しており、食事もとれず、病院にも行けない。
- 30代女性、派遣社員で旅行会社添乗員。ツアーごとに派遣契約を結んでいる。コロナの影響でツアーが中止。仕事がない。
- 70代女性、清掃のアルバイト。店が休業になり、3月から収入が0。生活保護は受けられるのか。夫は入院中である。

寄せられる相談内容

- 20代女性、双極性障害があり定職に就くことが困難。SNSを活用しながら売春行為で生活費を得るが、性病罹患、精神疾患悪化で困窮。福祉課に相談するも「男性を頼れないのか」と言われ自殺未遂。
- 20代女性、知的障害の疑いあり。ホストクラブでの借金120万円(?)のため、風俗店勤務。返済してもいつまでも借金が減らないため相談。

13

外国人労働者問題 (難民支援+反貧困のコラボ)

しごと せいかつ こま
仕事や生活に困っている
がいこくじん そうだんかい
外国人のための相談会

お金がない... 難民申請をしたい... しごとをくびになった...
家賃を払えない... 病院に行きたい... 食べ物がほしい...

2020/11/1 (日) 10:00~16:00
キュポ・ラ広場 (川口駅東口公共広場)

相談にお金はかかりません、予約は不要です (10:00から16:00まで、いつでも来てください)
弁護士やNPO、医師がお話を聞きます

相談・ボランティア・取材などのお問い合わせ
クルド人の生存権を守る実行委員会 事務局 (岩槻) メール: righttoivekurds@gmail.com

8



Twitter、LINEでのSNS生活相談

- のべ1451件 (2021年1月11日~7月31日)
- 性別が把握できるもののうち、約80%が女性
- 飲食、宿泊、観光業などサービス業関連多数
- いわゆる夜職からの相談が172件
- 福祉制度利用に関する相談、精神保健に関する相談、住まいに関する相談など
- 行政、社会福祉協議会、医療機関への同行

16

8月2日に「コロナ貧困」緊急出版

- 女性の貧困に関する相談事例のまとめ
- 性風俗、性売買、買売春、児童買春、人身取引に関連する相談事例
- 社会の周縁に置かれた人々のリアルな体験
- 日本社会の根本的な課題である女性差別の構造



17

社会構造、雇用構造の理解は基礎

- <数字で見る貧困と格差>
- ○上がらない賃金と男女格差
- 2018年の給与所得者の年間平均給与は441万円。
- 男女別では男性545万円、女性293万円。(国税庁2019)
-

18

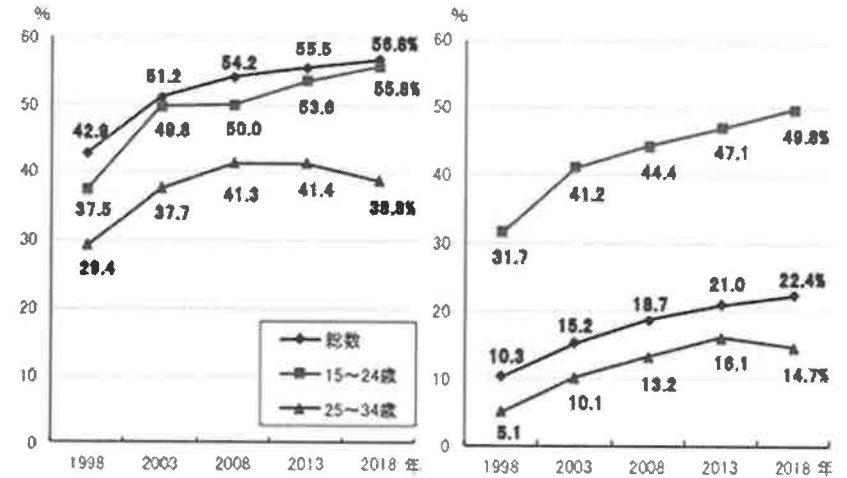
- ○貯蓄ゼロ世帯(2人以上世帯)
- 2017年31.2% 2010年22, 3% 2005年は23, 8% 1995年は7, 9%(日本銀行「金融広報中央委員会」)
- ○貧困率(相対的貧困率)
- 2018年 15,4% 子どもの貧困率13,5%

19

- ○ひとり親世帯の貧困
- 2018年 ひとり親世帯の貧困率 48.1%
- 2016年 母子世帯平均年間収入 243万円
- 母自身の平均年間就労収入は200万円

20

非正規雇用者の割合 女性 男性



21

22

○高齢者の貧困

2016年 65歳以上の相対的貧困率は27%。
公的年金制度。国民年金40年間1、6万円 6
5000円/月 厚生年金 遺族年金

単身高齢男性のみの世帯では36.4%、単身高
齢女性のみの世帯では、56.2%。

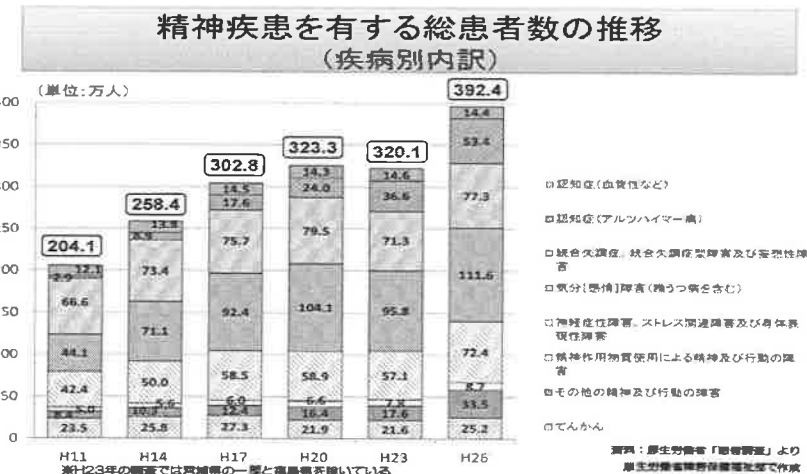
自殺者数の増加

- 男女、子どもなど自殺が増加中の危険社会
- 特に女性の増加率が高い
- 10月の自殺者は2158人で、男性は前年同月比で21.3%増。女性は前年同月比で82.6%増。
- 年齢別では特に20代と40代で増えている。

→もともと精神疾患なども多く、死と隣り合わせ

23

増え続ける精神疾患の患者



24

積み上がる大企業の内部留保 (賃上げも設備投資も何もしない)

- 全労連、国民春闘共闘、東京春闘共闘は15日、東京都千代田区の経団連会館を包囲し、国民春闘をスタートさせる「闘争宣言」行動を行いました。300人が参加し、コロナ禍でこそ459兆円にもものぼる内部留保を還元して、大幅賃上げと全国一律最低賃金1500円を実現せよ、雇用を確保せよ、と求めました。

(1月16日しんぶん赤旗)

25

実態を反映しない好景気 (株価維持で政権維持、統治する政府)

- 8日の日経平均株価の終値は前週末比609円31銭高い2万9388円50銭となり、1990年8月以来、30年6カ月ぶりの高値になった。米国の追加経済対策が早期成立するとの期待が高まったうえ、国内企業の業績回復も好感された。

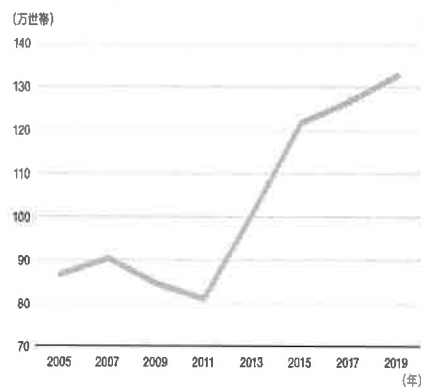
(朝日新聞2月8日)

→新型コロナ禍の株価対策は12兆円／年
日銀による指数連動型上場投資信託受益権(ETF)
大企業・株主・投資家には毎日給付金の様なもの

26

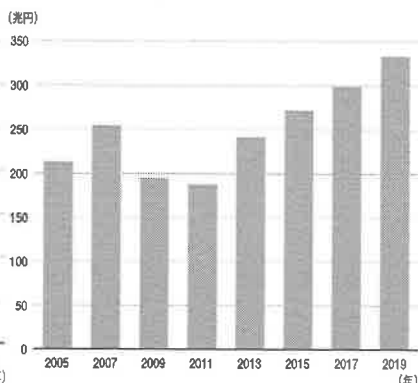
政府、日銀による資本、富裕層優遇政策

超富裕層・富裕層の世帯数推移



野村総研調べ

超富裕層・富裕層が保有する資産総額の推移



nippon.com 野村総研調べ

nippon.com

27

情報発信による分かりやすい問題提起 (SNSを駆使しない運動は広がらない)

● ネットを活用したソーシャルアクション

 twitter (@fujitatakanori)

 facebook (※個人名で展開)

ほかweb媒体(Yahoo!個人ニュース・BLOGOSなど)への寄稿も展開中



藤田季典 Takasumi Fujita

28

「#竹中平蔵つまみ出せ」Twitterデモ 11月29日・30日



29

ワーキングプアの増大 働く世代の福祉対象化

- 単身で暮らす20～64歳の女性の3人に1人が「貧困状態」にある
- 生活の苦しい人の割合を示す「相対的貧困率」が単身女性で32%。

(2012年2月8日 日本経済新聞社)

→性風俗店、買春による性暴力、性被害、ポルノ被害の相談、性感染症の増加

コロナ禍で進む女性の商品化、性売買の肯定化

女性を商業的性搾取していいのか

- 172件の夜職のうち、全員が何らかの貨幣需要のために働いている
- 支援は生活保護、債務整理、医療支援の3点
- 自身かきょうだいの学費、家庭の生活費、親や自身・パートナーの借金返済、摂食障害による食費、将来不安からの貯蓄
- 精神疾患罹患率は約90%と極めて高い一方、精神保健福祉手帳の保有者は10%に満たない

性風俗産業はこのままでいいのか (貧困拡大を待ちわびる人と性産業)



31

32

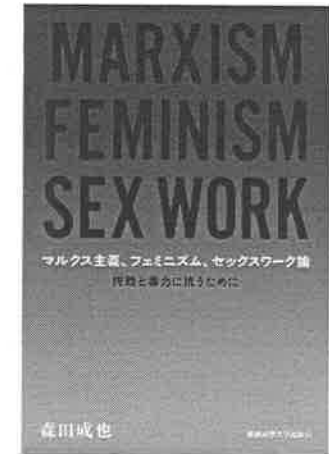
女性を商業的性搾取していいのか

- 潜在的な障害を抱える女性への性搾取、障害者虐待が日常化している現場
- 合法的に経営されている、という建前の裏に違法な売春行為(本番行為、本番強要)があり、稼ぐために違法行為が黙認
- 1対1というリスクを回避できないサービス提供(性暴力、殺傷事件、売春強要)、新型コロナ感染リスク

33

北欧モデルアプローチによる議論の必要性 (アボリショニズムアプローチ)

- 職業訓練、就労支援、生活保護など社会保障による手厚い女性の支援、保護
- 売春行為に対する罰則なし、非犯罪化
- 一方で、ピンブ行為(買春斡旋)、買春者(顧客)への罰則、規制強化
- 性風俗産業・売買春合法化VS性売買廃止主義
- 性風俗産業規制か性風俗撤廃か



34

声を上げ始める性搾取被害者たち

- 8月19日毎日新聞
- 性風俗から脱却して生活保護を受け始めた20代女性へのインタビュー記事
- 「風俗はセーフティネットではない」の拡散
- 社会福祉が遠く性風俗が近い女性たちへのアプローチ



35

声を上げると動く生活保護制度 (生活保護への改変圧力)



特別定額給付金再支給・毎日Twitterデモ

- 新型コロナで街頭に出れなくてもデモ、抗議は可能
 - 生活困窮者に限定しない連帯して要求する場
 - 給付金要求から派生して福祉制度の拡充
 - 自助、自己責任の呪縛からの解放。公助、公的支援を求めているという雰囲気醸成
 - 政府、政治に求めても意味がないという無力感からの解放
- 2月9日自民党73名が再給付への提言
→岸田内閣は数十兆円規模での財政出動を検討中

福祉国家型の脱商品化政策

- 教育、医療、介護、保育、住宅などから順次市場の商品化と切り離していく政策
- 「賃金＋社会保障給付」モデルに切り替え
- 当たり前だと思われている慣習や規範への批判や抵抗運動の必要性(特に大学学費などほとんどの国では無償、給費制)

とにかくすべきことを臨機応変に

- コロナ感染以前からの日本が抱える問題への対処
- 抑圧、差別構造にある当事者のエンパワメント、権利要求の主体化
- 当事者のアドボカシー、メディア戦略
- 社会運動の組織化と求心力を高めること
- 言論も活用した連帯、助け合いの醸成、自己責任論の打破
- 制度政策への介入圧力を高めていくこと

生活保護申請同行などの支援活動への協力をお願い

藤田孝典とサポートチームへの

カンパ随時募集中！

毎日20～30件の相談があり、首都圏各地にて支援活動をしています。その活動に伴う交通費、食料費、物品提供費等のカンパを募集中です。ご支援よろしくお願致します。

©T.Sakurai



お振込先のご案内

銀行名：三菱UFJ銀行
支店名：越谷支店
預金種別：普通
口座番号：0449695
口座名義人：フジタカノリ

問い合わせは
Twitterアカウント藤井純
(@tsumugi4190)のDM、
またはメール
(tsumugisakurai@gmail.com)へ
お願致します。